平成２２年度京都府立北桑田高等学校　学校経営計画（スクールマネージメントプラン）

学校経営方針（中期目標）	昨年度の成果と課題	
1学力の充実向上 2希望進路の実現 3地域から信頼され、地域の誇りとなる生徒の育成	1　学力充実向上 【成果】 ・成績不振者に対し担任・分掌から指導を事前に行い、不振科目の解消に繋げた。 【課題】 ・家庭学習の定着を図る体系的取組の実施。 ・「わかる」授業への授業改善。 2　希望進路の実現 【成果】 ・進路学習等をとおして、進路の最新情報を提供できた。 ・検定の受検などをとおして、学習意欲の涵養につとめることができた。 ・進学において、国公立2桁進学など進学指導に成果があった。 【課題】 ・系統的な進路指導計画の改善 ・学力実態把握のための分析会の充実 ・キャリア教育の実施	3　地域から信頼され、地域の誇りとなる生徒の育成。 【成果】 ・各部活動の活躍（全国大会、関西大会等での活躍） ・森林リサーチ科の研究等の全国的評価 【課題】 ・高い目的意識を持つ生徒の募集 ・成果についての時機を得た発信 ・小中PTAも含めた地域懇談会の企画開催

平成22年度　学校経営の重点（短期目標）【評価】

評価領域	重点目標（短期目標）	具体的方策	評価	
組織・運営	地域との連携の下の学校将来像の具体化	(1)各種会議の活性化による課題の共有と対応	B	B
		(2)少子化地域における小規模校のあるべき姿の具体化	B	
教育課程		(1)様々なニーズに応える小規模校における教育課程の編成	A	
		(2)新教育課程の実施に向けた研究	A	
学習指導	家庭学習の定着	(1)分かる授業のための授業改善	B	B
		(2)質の高い学力（将来に活用できる学力）の育成	B	
		(3)家庭学習の定着のための学習指導の研究と実践	C	
進路指導		(1)キャリア教育を軸とした系統的・計画的な進路指導の体系化	C	
		(2)ガイダンス機能の充実等、小規模校の特色を生かした進路指導の充実と実践	B	
生活指導	地域との連携・協力の強化及び広報の充実	(1)生命・人権を基盤とした正しい判断力と実践力の育成	B	B
		(2)基本的生活習慣の確立と自らの心身の健康を適切に管理し、改善する能力の涵養	B	
		(3)社会の一員として自覚的な行動が取れる指導	B	
信頼を高める学校作り		(1)学校の情報発信力を高め、地域に学校の姿を見えるような取組の実践	B	
		(2)安心・安全を保障できる体制作り	A	

平成22年度　学校経営の重点（短期目標）【成果・課題】【次年度に向けた改善の方向性】

評価領域	重点目標（短期目標）	成　果	課　題
組織・運営 教育課程	地域との連携の下の学校将来像の具体化	・各会議で生徒数の減少について、報告する事で情報の共有化を図った。 ・新教育課程について、学区2中学校の理科・数学の教員と交流が実施できた。 ・新教育課程を踏まえた、教育課程を検討し、計画できた。	・新教育課程への移行に係わり、２中学校との教科担当者レベルの交流を数学・理科以外も実施する。 ・生徒数の減少を踏まえた、学校の現状と将来を展望する話し合いを、地域の小中学校と行う機会を確保する。
学習指導 進路指導	家庭学習の定着	・家庭学習時間調査や学習の評価アンケートを利用し、現状把握に努めた。 ・各教科担当のレベルでの、家庭学習の定着に向けた工夫がなされた。	・アンケート結果を生かした研修を実施する。 ・各教科担当の工夫を、教科レベル、学校レベルで共有化し、学校全体として家庭学習の定着に向けた取組を実践する。
生活指導 信頼を高める学校作り	地域との連携・協力の強化及び広報の充実	・地域の学校評価アンケートを実施し、地域での学校のイメージを把握することができた。 ・全日制の広報紙を作成し、学区の全戸に配布することができた。 ・PTAと協力し、川の柵の設置など、通学路の安全の確保など具体的取組ができた。	・地域の学校評価アンケートの結果を生かした取組を、地域連携のために実践する。 ・広報紙の全戸配付のための配付経路の新たな開拓。 ・「北桑田の未来を創る会」、学校行事の開放等、開かれた学校づくりの一層の推進。
次年度に向けた改善の方向性	・キャリア教育を柱として、学校の目指す教育の流れを生徒・保護者に分かりやすいものとして構築する。 ・家庭学習時間の定着を学校体制として取り組む。 ・開かれた学校作りを進め、地域の信頼を得ると共に、地域の学校の存在意義を高める。 ・地域の小中学校との連携を深め、地域で子どもを育てる意識を共有化する。		